

監 修：白井市家庭教育講座講師、健伸行田幼稚園園長 渡邊登代子
発行元：白井市教育委員会（生涯学習課 492-1111 内 3431）

平成29年1月発行

「家庭教育通信」は、子どもたちの健やかな成長を願い、よりよい家庭教育について、皆で考え行動することを目指して、白井市教育委員会が情報を発信するものです。

心豊かな子どもが育つ5つのポイント ～今から出来る我が子への関わり方～



「子育て」、国家最大の財産である“未来にはばたく子ども”を今まさにお育てになっている皆さんは、とても大変なことと思いますが、希望に満ちた素晴らしい時間でもあると思います。

私は2人の子育てが終わり、その娘が母親になって子育てに大奮闘している姿を少しだけ“ゆとり”をもって見守れるようになりました。

その子育てについて皆さんに発信するほど「立派な子育て」が出来ていたわけではありませんが、自分自身が体験してきた子育ての反省を含め、人生を皆さんより多く生きてきた人間として、ぜひこれから5つのメッセージ（ポイント）を送りたいと思います。

①心の中に原風景を

心の中に原風景を持っている子は「苦しい時」「いじめに遭った時」「挫折した時」に、一歩前進できるエネルギーになることができます。

原風景の例としては

- ・お父さん、お母さんに優しく抱きしめられた原風景
- ・おうちの人と一緒に茜色にそまった夕焼けをいつまでも見続けた原風景
- ・野原で一緒におにぎりを食べた原風景

このような一見とりとめもないような原風景が、大きな意味を持ちます。

②価値視されていること

一人ひとりのお子さんが、それぞれの家庭で価値視されていることが大きな自信につながります。

例えば

- ・この家にあなたがいてくれるから、お父さんもお母さんも嬉しいし、とっても幸せ



- あなたがこんなにお手伝いをしてくれるから、本当に助かっているよ
 - あなたが元気で頑張っているから、私たちも頑張ることができるよ
- など、認めて声をかけてあげるようにしてください。

私は今、東京で教育相談を受けています。その中で、保護者に存在を否定される言葉を言われ続けて円形脱毛症に悩む子供がいます。価値視されていない悲しさに胸が痛みます。



③直そうと思っても直すことの出来ない欠点は、深いところで長所に繋がっている

「忘れ物が多い」「落ち着きがない」「授業中私語が多い」等々言われるお子さんがいます。しかしその欠点は、その子の体を巡り巡っている血液、人格を形成している長所に繋がっているのです。

先に述べた3つの欠点を保護者から言われ続けた子供は、実は大変な熱中型でした。自分の興味、関心のあるものに対して、とことん追求する長所を持っていました。

欠点が多いからと不満をあらわにせず、欠点が長所に繋がると寛大な心でお子さんを見守ってください。

④人と比べない（特に兄弟、姉妹と比べない）

日本民族は、農耕民族ゆえの協調性と優しさがある反面、人並み主義という一面も持っているようです。

兄弟、姉妹と比べない。特にとかく、要領の良い下の子をつい褒めてしまいますが、それは逆です。おっとり型のお兄ちゃん、お姉ちゃんをぜひ褒めてください。

そうすれば、必ず兄弟、姉妹、仲良しになれます。

⑤責任外在と内在

「うちの子の成績が悪いのは先生の指導が悪いから」「言葉遣いが悪いのは友達のせい」等々、そういった面を他人の責任（責任外在）にしているととても楽ですが、実はそういった保護者に育てられた子供は、何にでも人のせいにしがちです。

逆に「最近、うちの子元気がないけど、もしかして私たち夫婦（大人）の関係がギクシャクしているからかしら？」と大人である自分たちに鉾先を向けられる責任内在の保護者に育てられた子供は、自己反省ができ、心の成長も期待することができます。

心豊かな子供が育つ最大のポイントは、保護者や大人同士の仲が良いことです。

これは、私の子育ての中での自己反省でもあります。

時代の流れの中で、やむを得ず一人で子育てをされている方もおられると思います。忙しいとは思いますが、ぜひ「二人分」の愛情を注ぐように頑張っていたいただきたいと思います。

